

わくわく  
サイエンス

# 炭作り

【6年 もの燃え方と空気】

**準備** 木の枝や松かさ、ラベルをはがせる空のスチールかん（フルーツのかんづめの空きかんなど）、ガスコンロ、アルミニウムはく、<sup>はりかね</sup>針金、ペンチ、つまようじ、軍手

**注意** けがややけどをしないように、軍手をはめる。

## 作り方

① ラベルをはがした空きかんの中に木の枝や松かさを入れて、アルミニウムはくでふたをする。

② <sup>ま</sup>針金を巻いてふたを固定し、ふたのまん中につまようじで<sup>あな</sup>穴をあける。

③ かんをガスコンロの中火で熱する。

④ しばらくすると穴から白いけむりが出てくるので、15分ほど熱して白いけむりが出てこなくなったら火を消す。

⑤ かんが十分に冷めてから、中にできた炭を取り出す。

★ できた炭は、部屋などにかざっておこう！



## 炭とその利用

空気が入れかわらないようにして植物を熱し、蒸し焼きにすると、白いけむりが出てきて、そのあとに炭が残ります。

炭は、ほとんどほのおを出さずに燃え、料理をするときなどの燃料として使われています。また、においや水分を吸い着けるはたらきがあるので、部屋などに置かれて、におい取りやしつけ取りとしても使われています。

